

東京国公だより

東京国家公務員・独立行政法人労働組合共闘会議 2017/1/30 16-20号

【電話】03-3501-6973

【FAX】03-3500-4391

【Eメール】

office@tk-kokko.org

URL: <http://tk-kokko.org/>



AERA

雑誌アエラ (2月6日付-
発売は1月30日から)

電ケ関の長時間残業問題の特集

違法残業問題 “不夜城”厚労省の役人が不満たらたら

「働き方」問う資格なし

朝日新聞系出版社発行の週刊誌アエラ(2月6日付)発行は1月30日)は、「違法残業問題」「不夜城」「厚労省の役人が不満たらたら」「働き方」問う資格なし 国会が始まった。安倍晋三首相が一億総活躍の最大のチャレンジとする働き方改革の議論

東京国家公務員・独立行政法人労働組合共闘会議
事務局長 植松隆行

改させよう!
今こそ電ケ関を始め
国公職場での長時間
残業を根本的に改善

が進む。一方で、所管する厚労省のブラック公務は置き去りに・・・との表題をつけて、2ページ立ての特集記事を掲載しました。



水谷東京国公議長 が証言台立ち陳述

■日時 2017年2月8日(水)
13時45分集合(14時開廷)

■場所 東京地裁立川支部 404号法廷
(立川市緑町10番地の4)

※立川駅からモノレールに乗り換え1つ目
「高松駅」下車徒歩5分

7.8%賃下げ無効を求める電通大職組の起こした裁判で、電通大委員長で東京国公議長の水谷さんが証人として陳述します。是非傍聴を。

アエラの記者から「取材に協力してほしい」との依頼は年明け早々にありましたが、具体的取材は1月16日の週からです。

大変はじめな記者さんで、私が一緒に関わったり、紹介した方だけでも約10人で、その全員に取材したとのこと。ほんとうは23日付け発行のアエラに

掲載する予定だったようですが、「もっと取材しないとよい記事が書けない」ということで、一週間伸びたとのこと。

「不夜城霞が関改革の機運」毎日新聞でも実は昨年12月26日の毎日新聞朝刊25面でも、「はたらく」のコーナーで、

5段ぬきで、霞が関の長時間残業問題が報じられました。さらには、その前には共同通信や、「SPA」もネット配信してくれました。霞国公が長年粘り強く残業問題を取り組んできた、その賜物とも言えます。

注目される霞ヶ関

の残業問題II政府

のお膝元では？

安倍首相はまがりなりにも、一億総活躍をぶち上げ、長時間労働を規制すると、言葉としては発しています。

こんな中で、電通の高橋まつりさんの何とも悲惨な過労自殺が起きてしまいました。長時間残業、長時間労働問題は今や社会問題となっています。

「労働基準監督官頑張



【この画像は霞が関とは関係ありません】

れ！」「監督官をふやして！」の声がネット上からも聞こえています。

さてアエラの記者ならずとも、「所管官庁である厚労省では一体どうなっているのか」と、その実態に注目するのは当然の成り行きでした。アエラの記者さんもそのことを何度か語っておられました。

継続は力！

こんな中で、最初の取材

は東京国公のHPでした。東京国公HPでは、霞が関の残業実態を何度も掲載していましたし、霞国公の残業アンケート結果も全文掲載しました。労働基準監督官の役割や不払い残業代を取り戻した実績もアピールしました。高橋まつりさんの死を無駄にしない労働運動の大切さも訴えました。この継続が毎日新聞その他も含めて、ジャーナリストの目に留まったのだと思います。ちなみに霞国公は四半世紀継続してきたのです。

やはり「継続は力なり」です。今春闘では東京国公は、賃金、人員、非正規、長時間労働、最賃を柱に、国民要求も正面に据えつつ、民間や地域の皆さんと旺盛な運動を展開します。

政府交渉も含めて大いに奮闘しましょう！